レースの裏側に迫る!
SUPER GT キーパーソンインタビュー

レースの裏側には、プロフェッショナルの存在が欠かせません。
一つでも上の順位でゴールするために、彼らは日々奮闘しています。
それぞれの仕事について今回はこの2人に聞いてみました!

メカニック(SGT)
山崎稜汰(やまざき・りょうた)
愛知県出身／2016年入社
技術・経験が増え今が旬な次世代のエース

私の主な仕事の役割は、フロントセクション(フロントサスペンション、エンジン周りなど)を担当しています。セッション中はセット変更を行ない、インターバルは下回りのチェックを行ないます。レース中のピット作業は、右側のタイヤ交換を担当しています。

テストやレースの間では、マシンをバラバラにして各パーツをチェックして次のイベントへ向けて組み付けます。

自チームのマシンが、前を走るライバルと抜きつ抜かれつのバトルをしているときは、レースに対して面白みを感じますし、ピット作業でライバルより先に車を出せたときは、自分の仕事をやり切ったと思います。

私はタイヤ交換を担当していますので、ピット作業には是非注目して欲しいです。

他チームにタイヤ交換のスピードで負けたくないので、0.1秒でも速くできるように練習を重ねていきます!

セカンドメカニック(SGT)
山口大地(やまぐち・だいち)
栃木県出身／2012年入社
一歩二歩先を常に見て仕事をこなすみんなから頼られる存在

私のサーキットでの主な仕事は、リアセクション(リアサスペンション、ギアボックス、クラッチなど)を担当していて、セッション中はセット変更、インターバルではチェックを行ないます。そしてレース中のピット作業は給油担当です。また、マシンを触る作業ではないですが、とても重要な設営・撤収作業を中心となって行なっています。

Modulo Nakajima Racingは、GT500では唯一のダンロップユーザーです。1台でその他大勢のタイヤメーカーに勝負するのはハンデも大きいですが、苦労が多い分とてもやりがいを感じます。特に優勝できた時にはこの仕事をやっていてよかったなぁと思います。

私の持論としては、メカニックが目立っているという時は、何かしら事件が起きてしまっているときだと思いますので、逆に目立たないように淡々と仕事をこなしているところに注目して欲しいですね。